

RNA共創コンソーシアム研究レポート

1. 概要 – PR Times記事と花王のニュースリリースから得られる情報

2025年10月7日のPR Times記事と花王のニュースリリースによると、花王株式会社はアイスタイル、キリンホールディングスと共に、2025年10月14日から17日に幕張メッセで開かれるCEATEC 2025に「RNA共創コンソーシアム」として出展した¹。コンソーシアムは花王の**皮脂RNAモニタリング技術***2を基盤とし、RNAによって個人の肌や身体の状態を把握し、それを商品・サービス選択に生かすことを目的にしている²。

1.1 目的

モノや情報があふれる現代では、消費者が自分に合う物を選ぶことが難しい。その課題を解決するため、RNA情報を「モノサシ（基準）」にして、各社が連携し新しい美容・健康価値の創出を目指している²。これによって、消費者が満足度の高い製品・サービスを選択できる仕組みと、需給バランスを整えたサステナブルな消費サイクルの実現を目指す³。

1.2 参加企業

- ・**理事（運営委員会）**：花王、アイスタイル⁴。花王が技術を提供し、アイスタイルは美容プラットフォーム（@cosme）を運営する。両社は2022年から皮脂RNAのグルーピングや美容関連商品の選別方を解析する共同研究を進めている⁵。
- ・**幹事企業**：コーセー、マツキヨココカラ&カンパニー、キリンホールディングス、パーフェクト株式会社、ヘルスケアシステムズ⁶。これらの企業は各業界を代表し、RNAをモノサシとした新たなユースケースの実証や、ビジネス連携を推進する役割を担う⁷。

1.3 CEATEC 2025での出展内容と受賞

CEATEC 2025のテーマは「RNA-Tech Driven Society - RNAテックで変わる暮らしの8つの新基準」。コンソーシアムは、RNAが生活に入り込んだ未来の暮らしをパネルで示し、RNA周期ケアによってサプリメントやスキンケアの効果をRNAレベルで可視化する世界を提案した⁸。会場ではスマートフォンで顔写真を撮影するだけで皮脂RNA発現情報から肌タイプを推定し（肌遺伝子モード）、今の自分の肌や身体の状態をわかりやすく可視化する体験を提供した⁹。この展示により、CEATEC AWARD 2025のコ・クリエイション（共創）部門賞を受賞した¹⁰。

2. 公式サイトの情報 – 設立目的と活動内容

「RNA共創コンソーシアム」の公式サイトでは、皮脂RNAモニタリング技術に基づき、ビューティ&ヘルス産業の新しい基準を作るための共創プラットフォームであると説明している。サイトでは以下の情報が示されている¹¹。

- ・**背景・目的**：体調や環境要因により毎日変化するRNAを指標に、個人が自分の状態を理解し、その時に最適な商品やサービスを選べる社会を目指す。これにより、多くの選択肢から何が必要で何が不要なのかを見極められるようにし、サステナブルな消費に貢献する¹¹。
- ・**主な活動**：
 - ・皮脂RNAモニタリングを使った実証実験・プロトタイピング支援や技術導入支援¹²。

- ・参画企業同士のビジネスマッチングや情報交換の場を提供し、新たなユースケース創出や協業を促す¹²。
- ・データ利活用に関する厳格な方針を設け、匿名化やセキュリティ対策を徹底することで生活者の信頼を得る¹²。
- ・参画メリット：パートナー企業は、皮脂RNAモニタリングの最新技術や研究成果にアクセスでき、情報収集・オープンイノベーション・ビジネスマッチング等の機会を得られる¹¹。

3. RNAテック（皮脂RNAモニタリング）とは

3.1 技術の概要

花王が開発した「皮脂RNAモニタリング」技術は、油取りフィルムで顔の皮脂を採取し、そこからRNAを抽出して網羅的に分析する。この技術のポイントは以下の通り。

- ・**非侵襲で簡便**：皮脂は皮膚表面から自然に分泌されるため、採取に痛みや負担がない¹³。
- ・**RNAを含む理由**：皮脂腺はホロクリン分泌という仕組みで細胞ごと内容物を放出するため、皮脂中には脂質だけでなく細胞内成分（RNAやタンパク質）が含まれる¹³。
- ・**解析能力**：高感度な解析により、人のmRNA約1万種類を測定できる¹³。
- ・**RNAの特性**：DNAが一生変わらない「設計図」であるのに対し、RNAは生活習慣や環境ストレスに応じて日々変化するため、現在の身体状態を反映する指標として適している¹⁴。このため、皮脂RNAを測定すれば肌や体の状態、免疫状態などをリアルタイムに推定できる。

3.2 肌遺伝子モード（Skin Gene Mode）

花王とアイスタイルは、皮脂RNAの発現パターンに基づく肌タイプの分類研究を進め、RNA発現の類似性により2つのクラスターが存在することを報告した⁵。これを「**肌遺伝子モード**」と呼び、以下のような特徴がある。

- ・**C1（つるつる期）**：バリア機能関連遺伝子の発現が高いグループ。肌の表面が滑らかな状態を示す。
- ・**C2（びかびか期）**：免疫応答関連遺伝子の発現が高いグループ。肌の表面に輝きがある状態を示す。

この分類は従来の「乾燥肌・オイリー肌」といった肌タイプとは独立したものであり、個々の肌状態をより正確に理解する新しい指標として注目されている¹⁵。スマートフォンの顔写真とAIを用いて皮脂RNAデータを推定する技術が開発され、@cosmeアプリでは撮影した顔写真からC1/C2を判定する「肌遺伝子モード診断」が提供されている¹⁴。

3.3 RNAテックの応用例

- ・**化粧品・スキンケア**：ユーザーの肌遺伝子モードやRNA発現情報に基づいて、最適な美容・保湿ケアを提案する。花王は郵送検査サービス「Skin Potential Analysis」を提供しており、肌バリア機能や免疫状態などを評価して適切な製品を紹介する¹⁶。
- ・**乳幼児の肌バリアチェック**：花王とヘルスケアシステムズは乳幼児の皮脂RNAを使い、アトピー性皮膚炎の早期発見やバリア機能を評価する「Babywell Check」を実用化した¹⁷。
- ・**疾病研究**：皮脂RNAからパーキンソン病の発症予測や感染症に伴う免疫応答の変化を解析する研究が進められている¹⁶。
- ・**スマートフォンによる自己診断**：AIが顔画像から皮脂RNA発現を推定する仕組みを利用して、肌遺伝子モードや身体状態（SKIN・HOLISTIC・HEALTH）の簡易解析を行い、生活者が日常的に状態を確認できる⁹。

4. 参加企業の役割と事業との関連性

4.1 花王（理事）

- ・**技術供給者**：皮脂RNAモニタリング技術の開発者であり、分析手法やデータベースを提供する。
②。RNA解析により肌や身体状態の解像度が飛躍的に向上すると考えている ⑱。
- ・**実装例の展示**：CEATECではSkin Potential Analysis、乳幼児肌バリア検査、感染症・パーキンソン病研究などの実装例を紹介し、RNAデータの幅広い用途を示した ⑲。

4.2 アイススタイル（理事）

- ・**プラットフォーム提供者**：美容特化の大規模口コミサイト @cosme を運営し、顧客接点を持つ。ユーザーの顔写真や購入履歴とRNAモードを組み合わせ商品推薦を行う。2022年から花王と皮脂RNAの収集と化粧品選好の分析を共同で行っている ⑤。
- ・**アプリ実装**：@cosmeアプリに肌遺伝子モード判定機能を実装し、ユーザーが自分の肌状態を簡単に確認できるサービスを展開 ⑭。

4.3 コーセー（幹事）

- ・**新しい肌分類による製品開発**：コーセーは中長期ビジョンとして美容に加えてヘルス・キュア領域へ価値提供を拡大する方針であり、皮脂RNA技術に注目している ⑮。RNA分析により従来の乾燥肌・オイリー肌とは別のカテゴリーが見えたことを革新的と評価し、ウェルビーイングを高める新しいソリューション開発に取り組む考えである ⑮。

4.4 マツキヨココカラ＆カンパニー（幹事）

公表資料は限られているが、マツキヨココカラはドラッグストアチェーンとして多数の店舗と顧客接点を持ち、健康食品や医薬品販売・調剤サービスを展開している。そのため、RNAによる健康状態の可視化を店頭サービスや商品の推薦に生かし、パーソナライズドな購買体験を提供することが期待される。

4.5 キリンホールディングス（幹事）

- ・**免疫ケアの活用**：キリンは健康科学事業で免疫機能に注目しており、RNAコンソーシアムでは皮脂RNAデータを利用して「免疫状態の可視化サービス」を提案している。CEATECの展示では「肌遺伝子モード」結果を用いた免疫ケアの受容性を調査し、免疫意識の高い生活を促すサービスのプロトタイプを紹介した ⑳。
- ・**飲料・サプリ等への連携**：免疫状態がわかることで、乳酸菌飲料やサプリメントといったキリン製品の推奨時期や種類を個人に合わせて提案するビジネスが想定される。

4.6 パーフェクト株式会社（幹事）

- ・**AI肌分析とのシナジー**：パーフェクトはAIによる顔解析・メイクシミュレーション技術を持つ。コンソーシアム参加により、従来の肌表面の画像分析と皮脂RNA由来の肌遺伝子モードを組み合わせ、ユーザーの状態をより深く理解することで新しい体験価値を提供したいと述べている ㉑。

4.7 ヘルスケアシステムズ（幹事）

ヘルスケアシステムズは「生活者の生活習慣のミスマッチをなくす」を理念に、郵送検査サービスなどを提供している。コンソーシアムでは、皮脂RNAモニタリングを活用して健康状態を可視化し、個人に合ったプログラムやソリューションを提供することを目指す。すでに花王と共同で乳幼児のバリア機能を測定するサービス「Babywell Check」を展開している ⑰。

5. CEATEC 2025での出展内容と「共創部門賞」の受賞理由

5.1 出展内容

- **パネル展示「RNAテックで変わる8つの暮らし」**：RNAが日常生活に浸透した未来を描き、RNA周期ケアに基づいてサプリメントやスキンケアの“使い時”が科学的にわかる世界を示した⁸。※8つの具体的な基準は画像に記載されており文章では公開されていないが、肌ケア・免疫・循環など生活全般の基準にRNAを適用する内容とみられる。
- **RNAテック体験**：スマートフォンの顔写真から肌遺伝子モードを推定し、SKIN・HOLISTIC・HEALTHの3領域にわたって現状を可視化する体験を提供した⁹。
- **各社の展示**：
 - 花王：Skin Potential Analysisや乳幼児バリア検査、感染症・パーキンソン病研究などを紹介し、RNAデータの応用範囲を示した¹⁹。
 - アイススタイル：@cosmeアプリでの肌遺伝子モード診断や口コミとの連動サービスを展示。
 - キリン：肌遺伝子モード結果を用いた免疫ケアの受容性調査と、免疫状態の可視化サービスのプロトタイプを紹介²⁰。
 - その他幹事企業（コーセー、マツキヨ、パーフェクト、ヘルスケアシステムズ）も、それぞれの商品やサービスとRNAデータとの連携案を提案したと報じられている。

5.2 受賞理由

「CEATEC AWARD 2025」のコ・クリエイション（共創）部門賞は、多様な業界・企業が共創する技術やビジネスモデルのうち、先進性と未来社会への貢献度が高い案件を表彰するものである¹⁰。コンソーシアムはRNAを共通基準とすることで、化粧品・食品・医療・小売など異なる業界のサービスや商品の提供・選択を横断的に可能にする未来を提案し、その先進性が評価された²²。

6. RNAテックがもたらす未来像と業界への影響

6.1 生活者への影響

- **パーソナライズド選択の実現**：RNAデータにより、肌や免疫状態、栄養状態などが可視化され、今の自分に最適な商品やケア方法を科学的に選べるようになる。これにより「買っても買っても理想のアイテムに出会えない」という“化粧品迷子”問題の解消が期待される²³。
- **予防・ウェルビーイングの向上**：体調の変化をRNAで早期に把握し、食事や運動、睡眠など生活習慣を調整することで、病気の予防やウェルビーイングの向上に寄与する。乳幼児のアトピーやパーキンソン病などの早期発見にも貢献する¹⁹。
- **新しいサービス形態の登場**：自分の状態に合わせた健康食品やサプリのサブスクリプション、肌状態に基づくAIカウンセリング、免疫状態に連動した保険商品など、さまざまな分野での新サービスが予想される。

6.2 企業・産業界への影響

- **ビジネスモデルの変革**：商品を「作る・売る・選ぶ」基準にRNAデータを導入することで、過剰生産や廃棄を減らし、需要と供給を適正化するサステナブルなビジネスモデルが構築できる³。
- **産業を越えた連携**：化粧品企業、ドラッグストア、飲料メーカー、AI企業、ヘルスケア企業などがRNAという共通指標で協働することで、新しい市場やサービスが創出される。²²
- **研究・標準化の促進**：RNAデータの分析や活用方法、品質基準、プライバシー保護に関する標準化が進み、産業全体の競争力向上につながる。

7. RNA情報を用いたパーソナライズドサービスに対する社会的議論と倫理課題

7.1 プライバシーとデータ保護

RNAやDNAなどの遺伝情報は極めて個人識別性が高く、漏えいや不正利用のリスクが大きい。一般的な遺伝情報の取り扱いに関する記事では、医療や研究での利用が進む一方、保険加入の差別や雇用差別などの懸念が示されている。対策としては以下が挙げられる。

- ・**暗号化と匿名化**：データを暗号化し、個人が特定できないよう匿名化することが求められる²⁴。
- ・**同意と説明責任**：利用目的や保管期間を明確にし、本人の同意を得たうえで収集・利用することが必要である²⁴。
- ・**法的枠組み**：米国では遺伝情報差別禁止法（GINA）などが制定されているが、日本でも遺伝情報の利用に関する法整備やガイドラインが求められる²⁴。
- ・**データガバナンスとセキュリティ技術**：フェデレーテッドラーニングなど分散処理技術を使うことで、データを中央に集めずに解析しプライバシーを保護する手法が推奨されている²⁴。

7.2 倫理的・社会的議論

- ・**公平性**：RNAデータを利用したサービスが高コストになり、一部の人がしかアクセスできない状況になると健康格差が拡大する恐れがある。
- ・**データの二次利用**：収集したRNAデータが保険会社や広告事業者に二次利用され、保険料の差別やターゲティング広告に使われる懸念がある。
- ・**心理的負担**：身体状態がリアルタイムに可視化されることで、利用者が過度に健康に関心を抱き不安を感じる可能性がある。
- ・**家族への影響**：遺伝情報は家族とも共有されるため、家族のプライバシーにも配慮したデータ取り扱いが必要。

コンソーシアムはデータ利用方針として匿名化とセキュリティ対策の徹底を掲げており¹²、社会的な懸念に配慮しながら技術を普及させる姿勢を示している。しかし、具体的な規範や監査体制の整備が今後の課題である。

8. 考察とまとめ

RNA共創コンソーシアムは、花王の皮脂RNAモニタリング技術を核に美容・健康・食品・流通など異業種が連携し、RNAを新しい“基準”として活用することで、パーソナライズドな商品・サービス選択を実現しようとする試みである。CEATEC 2025では、RNAテックが生活の8つの領域で新基準を提示し、スマートフォンでの自己診断体験などを通じて技術の可能性を示した。参加各社は自社の事業領域にRNAデータを応用することで新しい顧客価値を提案している。

一方で、RNAなどの生体情報は高度な個人情報であり、プライバシー保護やデータ倫理の確立が不可欠である。コンソーシアムは匿名化やセキュリティ対策の方針を示しているが、法制度やガバナンスを含む具体的な枠組みの整備が求められる。利用者にとっては、自身の身体状態を科学的に理解できるメリットがある反面、そのデータがどう使われるのかを確認できる透明性が重要となる。

今後、RNAテックが普及することで、健康・美容だけでなく食品、保険、ライフスタイル全般にわたるサービス革新が予想される。日本発のこの取り組みが国際的な規範を形成し、倫理的にも持続可能な形で発展するか注視したい。

1 2 4 6 8 9 10 16 18 19 22 RNAで「自分を知って」商品やサービスに出会う時代へ「RNA共創コンソーシアム」が「CEATEC 2025」に出展：マピオンニュース
<https://www.mapion.co.jp/news/release/000000575.000070897-all/>

3 5 7 花王とアイスタイル、業界のサステナブルな発展に向け新コンソーシアムを設立 コーセーなど5社が参加|ECzine（イーシージン）
<https://eczine.jp/news/detail/14409>

11 RNA共創コンソーシアム
<https://www.rna-co-creation.jp/>

12 kao.com
<https://www.kao.com/content/dam/sites/kao/www-kao-com/jp/ja/corporate/news/2024/pdf/20240311-002-01.pdf>

13 花王株式会社 | 皮脂RNAモニタリング®技術
https://www.kao.co.jp/skin_surface_lipids_rna/

14 スマホで撮影した顔写真から「肌遺伝子モード」を判定、花王とアイスタイルらが進める「RNAテック」とは - INTERNET Watch
<https://internet.watch.impress.co.jp/docs/interview/2050185.html>

15 23 花王とアイスタイルが「RNA共創コンソーシアム」設立 コーセーやマツキヨココカラ&カンパニーなどが参画
<https://www.fashionsnap.com/article/2024-03-11/kao-kose/>

17 花王・アイスタイル設立『RNA共創コンソーシアム』に共創パートナーとして参画します - 株式会社ヘルスケアシステムズ | 生活習慣のミスマッチをゼロにする
<https://hc-sys.com/news/240311/>

20 「RNA共創コンソーシアム」が「CEATEC 2025」に出展
https://www.kirinholdings.com/jp/newsroom/release/2025/1007_01.pdf

21 パーフェクト社が幹事社として参画する「RNA共創コンソーシアム」が「CEATEC2025」に出展 | パーフェクト株式会社のプレスリリース
<https://prt-times.jp/main/html/rd/p/000000222.000066482.html>

24 遺伝子検査におけるプライバシーとデータの取り扱い
https://www.generio.jp/shop/information/2025_0929_12